

GRANDVIEW

PROJECTION SCREEN

電動巻き上げ型スクリーン (GEA-RC150/150HD/170HD) 取り扱い設置説明書

このたびはグランビュープロジェクションスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めのスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱いおよび設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存し、わからないことがおきたときに読みなおしてください。

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方の誤ったときに生じる、危害や、損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

安全上ご注意

◆ 下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては必ずお守りください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を表しています。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を表わしています。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容を表しています。



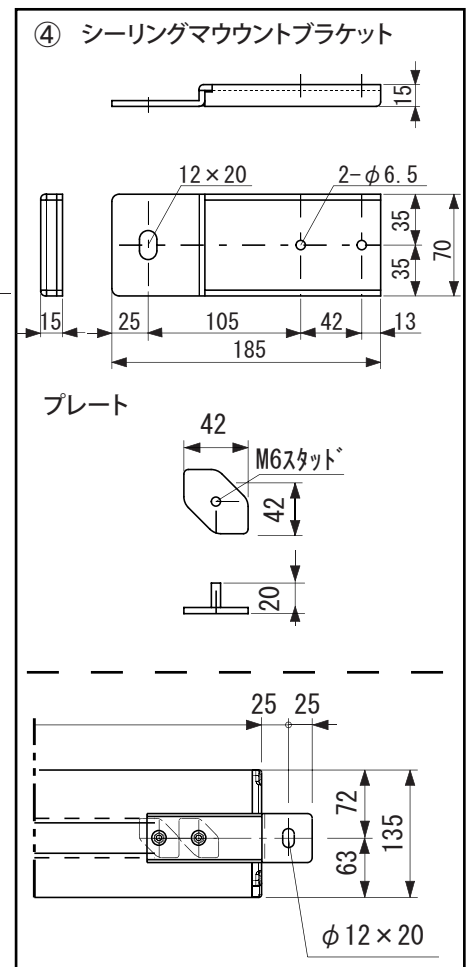
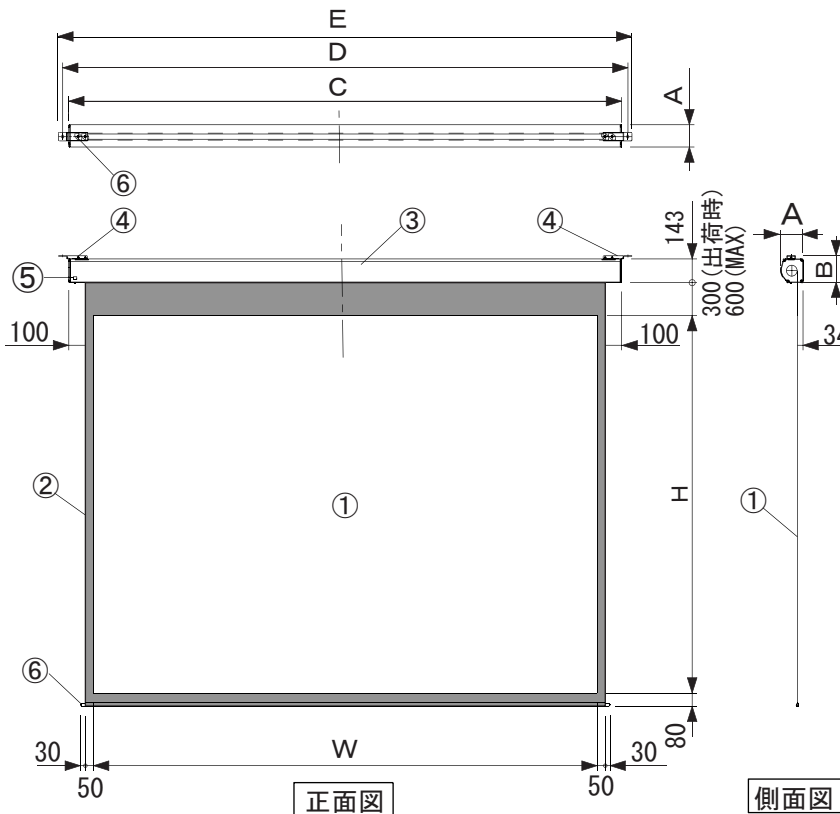
このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容を表記しています。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」の内容です。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

各部の名称・仕様および寸法



名称	①	スクリーン	④	シーリングマウントブラケット
	②	マスク	⑤	赤外線受光部
	③	スクリーンケース	⑥	下部パイプ

スクリーン規格一覧

■NTSCサイズ(4:3)

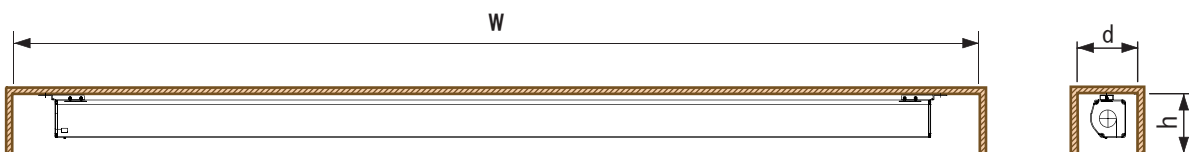
型番	スクリーンサイズ		ケース外形寸法			取付穴芯 D (mm)	外形寸法 E (mm)	重量 (Kg)	消費電流/電力 (A) / (VA)
	W (mm)	H (mm)	A (mm)	B (mm)	C (mm)				
GEA-RC150W	3048	2286	135	143	3348	3398	3448	29.6	1.05/105

■HDサイズ(16:9)

型番	スクリーンサイズ		ケース外形寸法			取付穴芯 D (mm)	外形寸法 E (mm)	重量 (Kg)	消費電流/電力 (A) / (VA)
	W (mm)	H (mm)	A (mm)	B (mm)	C (mm)				
GEA-RC150HDW	3320	1868	135	143	3620	3670	3720	34.3	1.55/155
GEA-RC170HDW	3763	2117	135	143	4063	4113	4163	39.4	2.35/235

※ 輸入商品の為、予告なしに仕様変更する事があります。

天井埋め込みBOX参考寸法(内寸法)



※天井埋め込みBOXはお客様側でご用意ください。

天井埋め込みBOX内寸							
NTSCタイプ			ハイビジョンタイプ				
d	h	w	d	h	w		
150	195	189	3600	150HD	195	189	3900
				170HD	195	189	4300

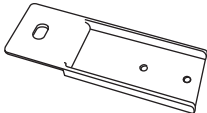








付属品

取り付けの前に、下記の付属品がすべて入っているかを確認してください。



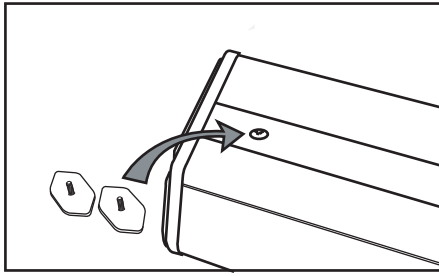
警告

下記設置部品以外での取り付けはおやめください。
取り付け等の不備による脱落の恐れがあります。

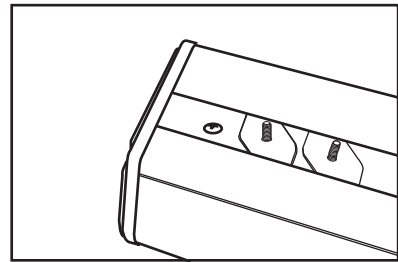
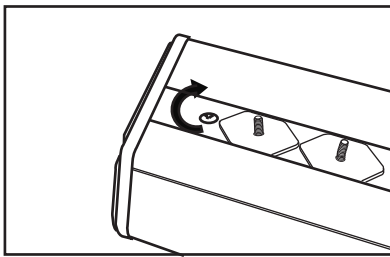
 <p>シーリングマウント ブラケット・・・2個</p>	 <p>M6平ワッシャー・・・4枚</p>
 <p>プレート・・・4個</p>	 <p>M6スプリングワッシャー・・・4枚</p>
 <p>壁取り付けスイッチ・・・1個</p>	 <p>M6ナット・・・・・・・・・・4個</p>
<p>電源コード(スクリーン専用品2m)・1本</p>  <p>※電源コードは、スクリーン専用品です。</p>	 <p>6Pモジュールプラグ・1個 (300mm)</p>
	 <p>六角レンチ ・1本</p>
	<p>取り扱い及び設置説明書・・・・・・・・1冊</p>

組み立ておよび取り付け手順

1. スクリーンケースの天面の溝にプレートを差し込みます。



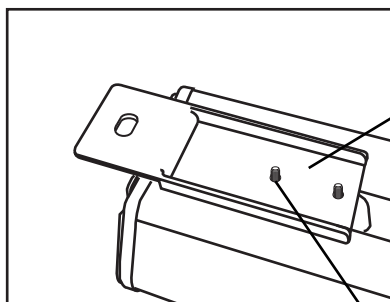
・ プレートをスクリーンケースの天面溝にのせます。



・ 右方向にストップするまで回転させてください。

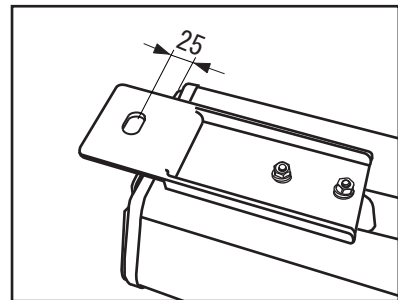
2. 取り付け金具をプレートに固定させます。

・ 取り付け金具をプレートのネジ軸に合わせて差し込みます。



取り付け金具

ネジ軸



取り付け金具の取り付け穴芯がスクリーンケース外側から25mmになる様にしてください。

・ 平ワッシャー → スプリングワッシャー → ナットの順にネジ軸に入れて締め込みます。取り付け金具をスクリーンケースと平行にし、取り付け金具の取り付け穴芯がスクリーンケース外側から25mmになる様に、先端を手で持って締め込んでください。

3. 右側も同様に取り付けしてください。



警告

- ・ 必ず2個のプレートが右方向にストップするまで回転させた状態で締め込んでください。
- ・ 取り付け金具が右方向にストップするまで回転させない状態で締め込み、スクリーンを取り付けますとスクリーンが脱落する恐れがあります。

スクリーン取り付け方法

天井に設置する場合



警告

- ◆スクリーンを設置する壁や天井は、200kg以上支えられる強度が必要です。また石こうボードやパーティクルボードなどの場合は、下地の補強が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。
- ◆補強が不足している面に取り付けると脱落する恐れがあります。



注意

◆天井取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。



禁止

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・ALCアンカーによる吊り下げ
- ・天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工



取り付け位置は、スケールやレーザーポインター等の道具で位置を決定し、必ずそれぞれが平行になるようにしてください。平行がとれていない状態で取り付け金具を取り付けるとスクリーンを取り付けできない場合があります。

※ 固定用のボルト・ナット類は同梱しておりませんので、下記の部品をあらかじめご用意下さい。

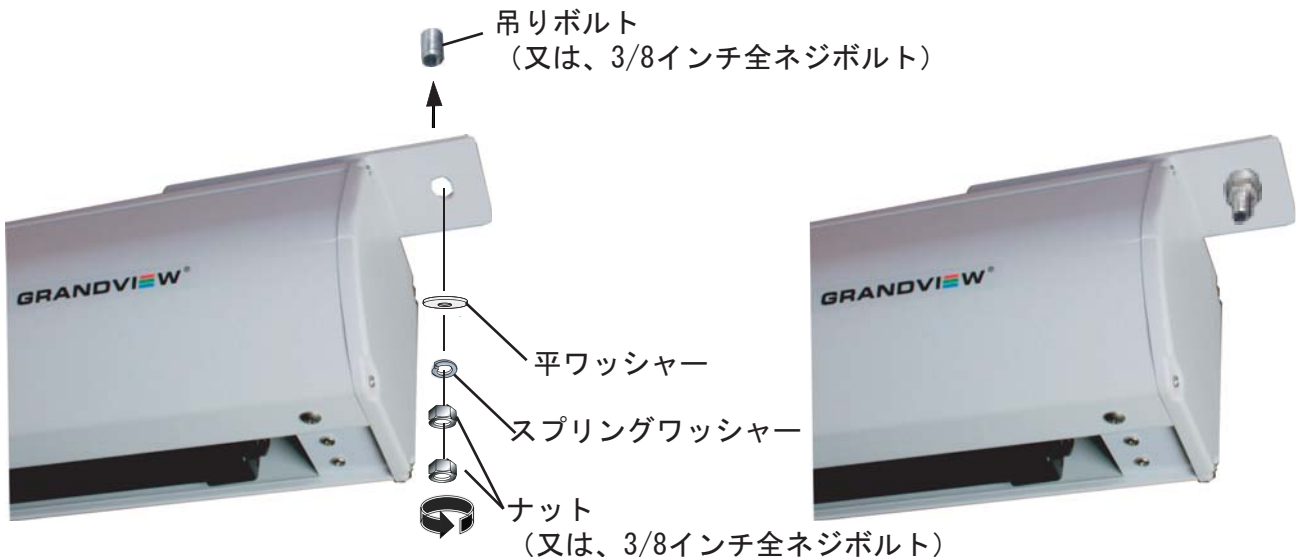
吊りボルト (3/8インチ又はM10)	×	2本
ナット (3/8インチ又はM10)	×	4個
平ワッシャー	×	2枚
スプリングワッシャー	×	2枚



警告

指定ボルト以外での取付は、おやめください。取付等の不備による脱落の恐れがあります。

- ① 取付穴芯寸法(D)にて吊りボルト (3/8インチ又はM10) を天井から降ろして下さい。
- ② 吊りボルトに取り付け金具の穴位置を合わせます。
- ③ 平ワッシャー・スプリングワッシャー・ナットの順で締め込みします。
- ④ 脱落防止の為に、更にもう1個ナットを追加して締め込みします。

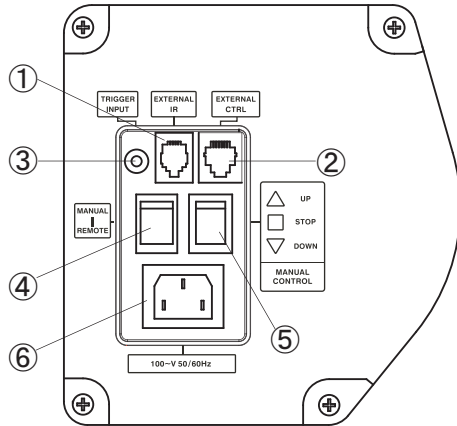


注意

取り付けピッチは、スケールやレーザーポインター等の道具で位置を決定し、必ずそれぞれが平行になるようにしてください。平行になっていない状態で取り付けをしますと、スクリーンケースが曲って取り付けされる場合があります。

コントロール部の働き

1. スクリーン本体コントロール部



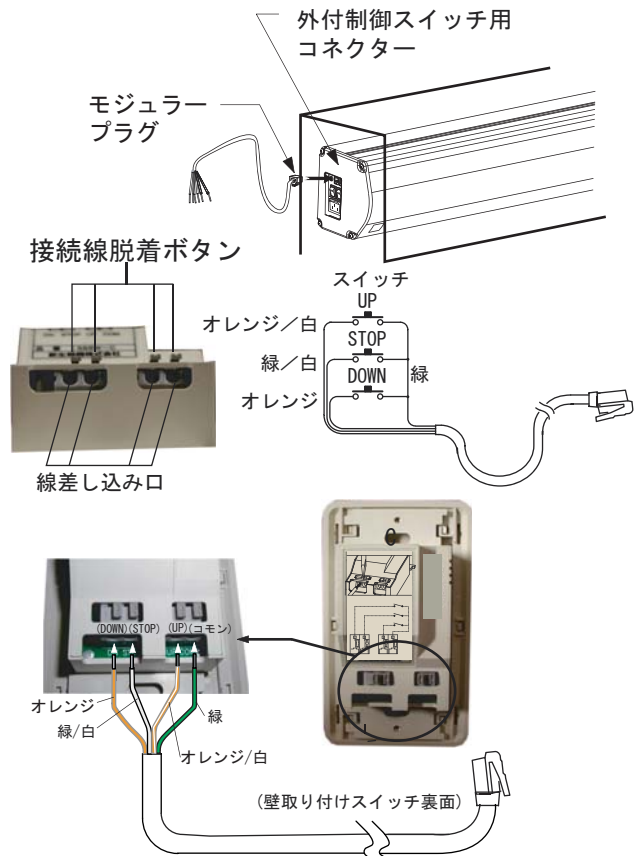
- ① 外付赤外線受光器用コネクタ
オプションでリモコン送信機とともに別売している外付赤外線受光器を、モジュラージャックコードで接続する時に使います。
- ② 外付制御スイッチ用コネクタ
制御スイッチをワイヤード仕様でお使いになる時に接続します。
6 ページをご覧ください。
- ③ トリガー端子
別売りのケーブルでプロジェクターと接続し、プロジェクターの電源ON/OFFと同時にスクリーンを昇降させることができます。
- ④ 本体操作スイッチ
リモコンが使えない場合(紛失または電池切れ等)に、マニュアルスイッチを使うための切り替えスイッチです。
- ⑤ マニュアルスイッチ
スクリーン本体で表示通りに操作してください。
- ⑥ 電源コード用コネクタ
付属の電源コード(スクリーン専用品 AC100V用)のコネクタを差し込んで使用します。

外付制御スイッチを接続する方法

接続をする前に：

- ・スクリーン本体コントロール部の電源を必ず切った状態で接続してください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は誤動作の原因となります。抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。

- ① モジュラープラグ付きケーブル(付属品)を接続する。左側面にある外付2制御スイッチ用コネクター(5 ページ、1-②)にモジュラープラグ付きケーブルのモジュラージャックを差し込み接続します。
- ② モジュラープラグ付きケーブル(付属品)と壁取り付けスイッチを接続する。
 - ②-1 接続線脱着ボタン(灰色の突起物)を細いマイナスドライバーなどの先で下へ押しつけます。
 - ②-2 押しつけた下側の線差し込み口へ結線図で指定された線を差し込みボタンからマイナスドライバーをはなします。軽く線をつまんで引っ張り線が抜けない事を確認します。抜ける場合は、ボタンの押し方や、線の差し込み方が不足しているのもう一度、同じ動作を繰り返します。
 - ②-3 残りの3つの線も同時に行い接続します。



- ・ 接続線脱着ボタンは下へ確実に押ししてください。押し方が不十分ですと、下の差し込み口に線が入らず正しく接続できません。
- ・ 差し込み口へは、線を確実にさしこんでください。
- ・ 確実にさしこまれていないと正しく動作しない恐れがあります。
- ・ モジュラージャック付ケーブルは必ず付属品をご使用してください。

* 中間ケーブル(推奨: VCTF 0.75 4芯)は、別途ご用意ください。

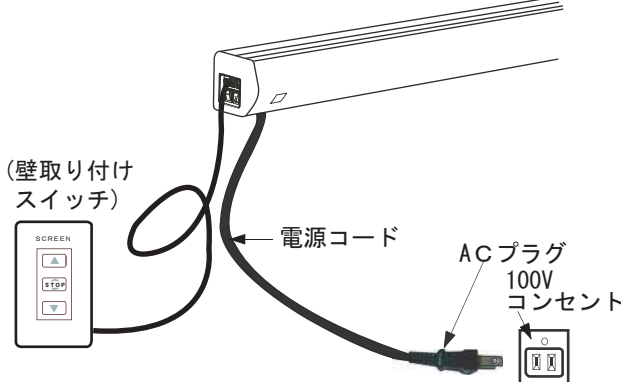
線色を合わせて、確実に絶縁圧着端子等で結線してください。

圧着が不十分ですと、動作しない事がありますのでご注意ください。

- ③ 電源コードを接続する。
スクリーンケース左下面にある電源コード(AC100V用)をコンセントに差し込み接続します。

禁止

- ・モジュラージャックの差し込みは必ず電源コードをコンセントに差し込む前に実施してください。電源ONの状態では抜き差しすると誤動作する恐れがあります。
- ・電源コードに物を強くぶつけたり火気類を近づけないでください。コードの破損によって火災や感電などの恐れがあります。



スクリーン停止位置の変更(リミッター調整)

スクリーンの上部マスク巾(有効画面上部よりケース下面間)は約300mmに設定されていますが、(工場出荷時)、スクリーンケースに内蔵されているリミッター調整用ボリューム(下図参照)によりご希望の位置に変更する事ができます。(最大600mmまで。)

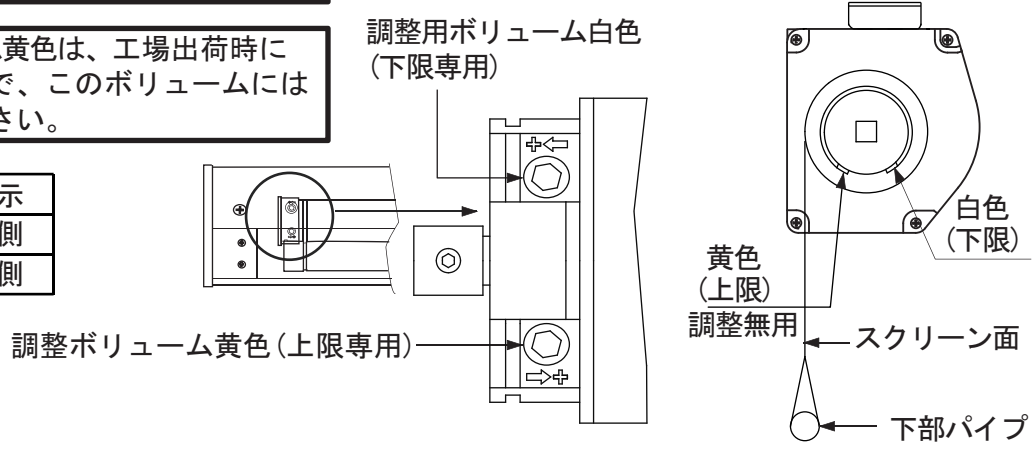
調整用ボリューム黄色は、通常の設置時には調整しないでください。下部パイプがケースに食い込んでしまいます。

調整用ボリューム黄色は、工場出荷時に調整済みですので、このボリュームには触らないでください。

調整用ボリューム表示	
反時計廻り	+表示側
時計廻り	無表示側

左底面部(下から見た図)

左側面図



スクリーン位置を下げたい場合

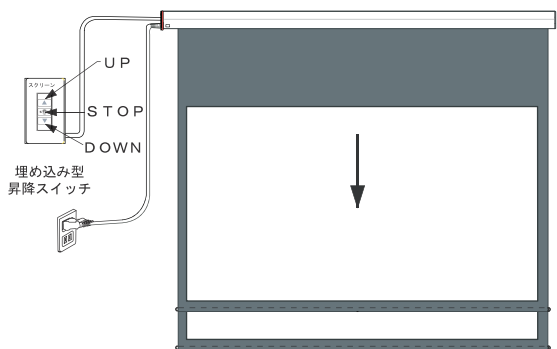
1. スイッチをDOWNに入れ、スクリーンが止まるまで待ちます。
2. スイッチはDOWNに入れたままにします。
3. ケース下面についているゴムキャップを外して、調整用ボリューム白色を反時計廻り(+表示側)へ付属の六角レンチ又は、小さいドライバー等で回します。(ボリュームを1回転するとスクリーンは約25mmピッチで下がります。)
4. ご希望の位置になるまで続けてください。

スクリーン位置を上げたい場合

1. 調整用ボリューム白色を時計廻り(無表示側に2~3回、回します。(1回転で約25mm上がります。))
2. スイッチをUPにし、スクリーンを30~40cm上げます。
3. スイッチをDOWNにし、スクリーンを下げ停止するまで待ちます。
4. ご希望の位置になるまで続けてください。

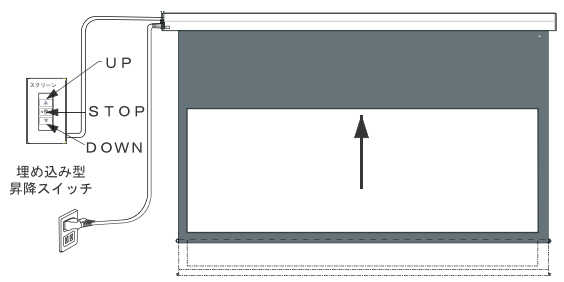
スクリーン位置が下がり過ぎた場合

スクリーン位置を上げたい場合を参照ください。



スクリーン位置が上がり過ぎた場合

スクリーン位置を下げたい場合を参照ください。



調整用ボリューム黄色はUPリミッター調整用ですが、工場出荷時に調整済みです。みだりに調整用ボリュームを回しますと、下部パイプがケースの中に食い込んでしまい故障の原因となります。

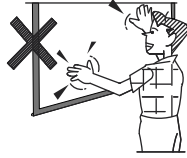
4回(往復)以上連続操作すると、モーター内部のサーマルスイッチが働きモーターは停止します。しばらく放置すると(15~20分)、サーマルスイッチが解除になり操作可能になります。(故障ではありません。)

注意

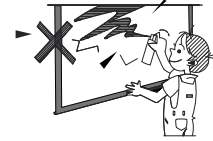
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

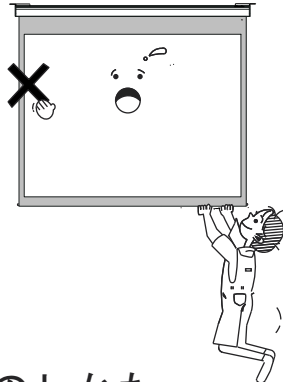
- スクリーン面に手をふれないでください。



- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



- ケースやスクリーンにぶら下がったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。

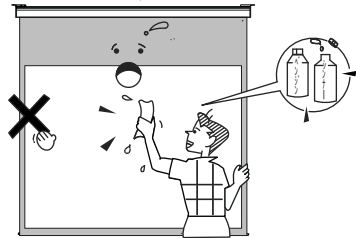


- ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

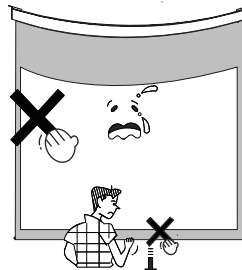


分解禁止

- 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。

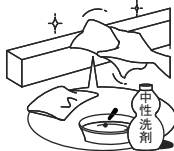


- スクリーンを無理に引き出さないでください。本体またはスクリーンが脱落する恐れがあります。



お手入れのしかた

- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。

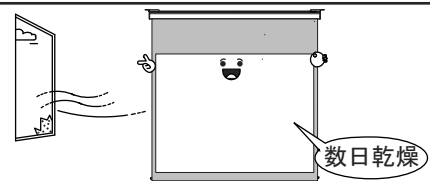


置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱器具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。



スクリーン表面は出荷前に充分乾燥させていますが、万一オイが強い場合は、窓を開け風通しを良くし、数日乾燥させてください。



メンテナンスノート

GRANDVIEW

Approved by

KIKUCHI
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC.

株式会社 キクチ科学研究所

本社 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35
TEL. 03-3952-5131(代) FAX. 03-3953-0051

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-34-6
事業部 MOA 402
TEL. 03-5979-9890(代) FAX. 03-5979-9891

大阪営業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-6-24
Y'sピアアクセス心斎橋7F
TEL. 06-6538-6070(代) FAX. 06-6537-2321

戸田MLC 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木7-13-6
TEL. 048-422-3821(代) FAX. 048-422-3844

<http://www.kikuchi-screen.co.jp/>

KIKUCHI SCIENCE LAB 2010.04 GEA-RC RW